

# 檄

**残り1週間、逆風を跳ね返し、終盤の追い上げで接戦を勝利しよう！**

第46回総選挙の投票日である12月16日まで1週間で切った。  
全国各地でご奮闘いただいている構成組織、地方連合会の仲間の皆さんに心より敬意を表したい。

先週末にマスコミ各社が行った世論調査では、民主党は100議席を割り込み、自民党が過半数を獲得する勢いである。仮にそうなれば、「働くことを軸とする安心社会」の実現は大きく遠のき、緒についたばかりの全世代支援型の社会保障や労働者保護強化にベクトルを切り替えてきた労働政策が後退を余儀なくされかねない。「自民党単独過半数」は、絶対に阻止しなければならない。

民主党苦戦の一因は、われわれが組合員の支持を十分に固めきれていないことにある。残された6日間に組織の持てる力を総動員して、組合員とその家族などに対して「働く者、生活者の目線を大事にして、連合の政策を確実に実現できるのは民主党しかない」ことをもう一度強く訴えよう。選挙戦終盤で追い上げ、接戦に持ち込み、勝利しよう。いま、行動すれば、必ず未来を変えることができる。1分1秒を惜しんで、民主党への支援の輪をひろげていこう。

構成組織、地方連合会は、各組織において

- ①小選挙区の連合推薦候補者と「比例区は民主党」を周知徹底すること
  - ②家族揃って投票に行くことを徹底すること
  - ③期日前投票の奨励を徹底すること
- に全力をあげて取り組むことを要請する。

逆風だからこそ、連合運動の真価が問われる。連合は、すべての働く者の幸せを実現するための拠り所であり、そのために先頭にたって行動し、未来をきりひらく存在でなければならない。

私は、この総選挙の接戦を勝利することに全身全霊を傾ける。各地で活動している仲間の皆さんのより一層の奮闘努力を期待する。全力で走り抜こう。

2012年12月10日  
日本労働組合総連合会  
会長 古賀 伸明